

## 第5回 市長とジェンダーミーティング 開催報告

日時：令和5年10月31日（木） 14時00分～16時05分

会場：市民活動センター 1F 多目的ホール

参加者：苫小牧市長、企業・市民団体等40名、事務局5名

### 《第1部》

#### ●市長挨拶

#### ●ダイバーシティ&ワーク・ライフ・バランス講演会 「先進的な障がい者雇用について」

講師：株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES 人財部人財開発課長 森嶋 咲野 氏

人財部人財開発課 障がい者雇用担当課長 荒木 慶 氏

### 《第2部》

#### ●市長挨拶

それでは、第2部のスタートということですが、お忙しい中、市長とジェンダーミーティングに御参加いただきましてありがとうございました。この後の、グループディスカッションに、講師のお二人に入ってくださいということですので、よろしく願いしたいなと思います。

おそらく、皆さん今回の講演を聞いていて、企業のサイズあるいは業種によって違うんだというところもあるかもしれませんが、僕は、講演を聞いていて、そういった問題以前に課題抽出力ですとか、あるいは課題分析力だとか、そういうところが組織の中で確立されているんだなと感じて、非常に参考になりました。もちろん、行政のオペレーションと民間企業さんは全く違いますが、非常に参考になりましたので、これからもまた、生かしていきたいなと思っています。

講演会が始まる前に4階で名刺交換をさせていただきまして、本当に入りやすい何かそういう感じがありまして、第1印象がそうでありました。これからですね、今の世の中、日本のマーケットサイズと生産労働人口のサイズの不マッチがすでに発生しています。そういう中で各業種、業態が生き残りをかけて行くのかということですね。20世紀の雇用の概念と21世紀の雇用の概念は全く別なものと捉えなければなりませんので、そういう観点から、雇用がどうあるべきなのかということも含めて、そこをベースとして、その上で障がい者雇用について、障がいを持った方にも喜んでもらえるような環境整備、環境づくりをどのようにできるのかということが生産性の向上に寄与できることとなります。いい意味の循環サイクルを組織に作って行けるかということが問われているんだなという風に思っておりまして、そういう観点からグループディスカッションを行っていただきたいと思います。僕もまた、順番にグループを周って行きたいなと思っていますので、今日、感じたことあるいは日頃感じていること等をお互いにぶっつけていただいて、グループごとの最後のまとめるを楽しみしておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

## ●グループディスカッション

各自が新たに気付いたことや感想についてグループ内で共有

## ●宣言行動

参加者それぞれが「障がい者雇用を促進するための行動宣言」を実施

### ・メンバー1

「それぞれの個性を知ることから始めます」

私は障がい者雇用を促進するため、それぞれの個性を知ることから始めます。

### ・メンバー2

「個性を正しく理解し、理解させます」

障がい者雇用を促進するために個性を正しく理解し、理解させるよう進めさせてまいります。

### ・メンバー3

「障がいを持っている方も職場、社会の中で自分の存在価値が、楽しい心地の良い居場所になるような意識を持ちます」

私は障がい者雇用を促進するために、障がいを持っている方も社会の中で自分の存在価値が楽しい、心地よいと思える居場所となるような意識を持って行きたいと思います。

### ・メンバー4

「全ての人が輝ける職場を追求します」

私は障がい者雇用を促進するため、障がいのある無しに関わらずというところに行くのですが、全ての人が輝ける職場というのを追求していきたいなと思います。

### ・メンバー5

「皆さんにおススメします」

障がい者雇用を促進するために、私は皆さんに是非、お勧めします。雇用したことが無い方は是非、いろいろな心配はあるかもしれませんが、多分、良くなったなと思えると思いますので、お勧めします。

### ・メンバー6

「会社内で障がい者雇用の環境整備を実施します」

スシローさんの話を聞きまして、まずは会社内で障がい者雇用の環境整備をします。

### ・メンバー7

「企業と障がい者のかけはしとなり、障がい者を支えます」

私は障がい者支援の方をいろいろやっていますので、吉田さんともいろいろお話をさせていただいてありますが、私は障がい者雇用を促進するために企業さんと障がい者さんとの架け橋となって、障がい

者の方を支援して、障がい者の方が定着していけるようにやっていきたいと思います。

・メンバー 8

「職員同士がサポートし合える職場環境をつくれます」

私は職員、スタッフ同士が障がいのある無しに関わらず、職員同士がサポートし合える職場環境を作って行きたいというところで宣言させていただきます。

・メンバー 9

「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に気をつけます」

私は障がい者雇用を促進するためにアンコンシャスバイアスの意識の偏見や思い込みに気をつけます。

・メンバー 10

「既存の業務の分析をし、障がい者の方を雇用できるような環境を満たします」

私は障がい者雇用を促進するために既存の業務の分析を行って、障がい者の方を雇用できるような環境を満たしていきたいと考えております。

・メンバー 11

「業務の細分化をします」

私は障がい者雇用を促進するため、業務の細分化をしたいと思います。

・メンバー 12

「障がいあるなし関係なく接していきます」

以前に障がい者施設の支配人をしていまして、縁あって、今もおもちゃライブラリーということで障がい者の方のおもちゃの貸し出しを行う業務をしています。私は主婦でありますので、障がい者のあるなしの関係なく、今後も接していきたいと思います。

・メンバー 13

「障がいをお持ちの方と語り合います」

私は障がい者雇用を促進するためにということもありますが、こうした多くの方や障がいをお持ちの方々と語り合いながら、つながりを持てるように頑張っていきたいと思っております。

・メンバー 14

「地域活動において一緒に活動してもらおうよう声掛けします」

障がい者雇用を促進するため、私は地域活動、自治会活動においても一緒に活動してもらえよう、声掛けをしていきたいと思っております。

・メンバー 15

「障がいのある方の特性を見ていきたい」

私は障がい者雇用を促進するために、障がいのある方の特性を見ていきたいと思います。

・メンバー 16

「障がい者の皆さんの可能性を信じます」

障がい者の皆さんの可能性を信じて行きたいと考えております。

・メンバー 17

「障がいのある無しを含めて、誰もが誰かにとって必要な“ひとり”であることを伝えて行きます」

私は、障がいのある無しを含めて、誰かにとって必要な1人であることを伝えて行きたいと思います。

・メンバー 18

「市や国などの支援、取組を情報発信します」

日頃、市内の企業の雇用促進や人材育成の担当をしておりますので、私は、障がい者雇用を促進するために市や国の支援の取組の情報発信を引き続きして行きたいと思っております。また、障がい者雇用について取組みたいという企業さんから相談があったときに、こちらとしても情報提供をして相談に乗れるように、私自身、更に勉強して行きたいと思います。

・メンバー 19

「継続した雇用検討します」

私は障がい者雇用を促進するために、継続した雇用検討をします。ということで書かせていただきました。今年の9月に1名、障がい者の方が採用されておりまして、これからも続けていきたいと思っておりますので、宣言させていただきます。

・メンバー 20

「今日聞いたお話を職場で伝えます」

本日は貴重なお話をいただきましてありがとうございます。今日聞いた貴重なお話を職場でみんなに伝えたいと思います。

・メンバー 21

「障がい者理解を学びます」

本日は初参加させていただきました。皆さんの貴重なお時間ありがとうございました。当社でも障がいをお持ちの方が数名働いていますので、障がいをお持ちの方が何を考え、何を求めているのか、障がい者理解を学びたいと思います。

## ●市長より総括

第1部、第2部とお付き合いをいただきまして、今回は5回目のジェンダーミーティングになりますが、ありがとうございました。そして、お二人の講師の方も最後までお付き合いいただきましてありがとうございました。

私も含めてですね、今日のこの講演をきっかけに、また、苫小牧市内でも障がい者雇用の促進に向けて、今後、また、少しずつ広がって行く、そんなことを期待しながら、先ほどから皆さんの宣言を聞かせていただきました。

我々、行政としても皆さんと一緒にこれから、この分野は時代の求めであるし、それからSDGsの観点もそうありますので進めて行かなければならないと思っていますが、私の昨年からはまった5期目の基本テーマに「助け合い、支え合うふくしのまちづくり」を掲げています。福祉は漢字ではなくひらがなで表現しています。それはですね、予算をつけて様々な障がいを持った方のための施策を展開するのは、大変重要だけでも、それ以上に、まちぐるみ、市民みんなで障がいのある無しに関わらず、何か自分ができるちょっとしたことを心掛け、助け合い、支え合いの行動を素直にできるような市民がたくさんいるまちを作っていくことが、このふくしの意味であります。もちろん、予算もつけてそういう環境整備も重要ですが、もっともっと、ハートに訴えかけることが必要なのではないかという観点から、福祉をひらがなに、「ふくしのまちづくり」ということを表現しています。これからの時代を考えると、避けて通れないミッションだと思っていますので、是非、皆さん方もこれからは男女平等参画というテーマ、概念の中に様々な向き合いかたがありますので、今日もその一つでありますけども、いろんな御意見をお願いいたします。

また、次は違ったテーマでやることになろうかと思いますが、是非、これからは忌憚のない意見、あるいは、行政にぶつけること、あるいは、市長に気をつけろよということがあれば、どんどん声を届けていただきなと思います。今日の一步は小さな一步かもしれませんが、この一步をですね、皆さんの力で大きな一步になるように、これからはよろしく願いしたいなと思います。最後、事務局から報告事項をお願いします。

## ●事務局から報告事項

特に資料はありませんが、1つ報告をさせていただきます。

この度、私たち協働・男女平等参画室では、早稲田大学マニフェスト研究所が実施しています、地方自治体の議会、首長、市民などによる、地域の民主主義の向上に資する優れた取組みを募集するマニフェスト大賞に、この「市長とジェンダーミーティング」について応募させていただきました。

応募した結果、全国3,088件から113件選ばれます優秀賞候補のエリア選抜に選ばれましたので報告させていただきます。

ただ、残念ながら、全国で40件選ばれます、優秀賞のほうには選ばれませんでしたので、重ねて報告させていただきます。

今後も、このような賞の募集がありましたら、市長とジェンダーミーティングをはじめとした取組について、応募させていただきますのでよろしく願いいたします。